

川越市教育委員会第 1 2 回定例会会議録

1 会議の場所 川越市教育委員会 教育委員会室

2 開 会 令和 8 年 2 月 5 日 午後 2 時

3 閉 会 令和 8 年 2 月 5 日 午後 5 時 1 0 分

4 教育長並びに出席した委員

新保正俊 飯島希 岡本紘子 鈴木朗 大石懷子

5 欠席委員 なし

6 教育長の職務を行った者 教育長 新保正俊

7 説明のため出席した者

(教育総務部)

- ・ 部長 佐藤喜幸
- ・ 副部長兼教育総務課長 佐藤裕子
- ・ 教育財務課長 水村将晃
- ・ 地域教育支援課長 吉野泰弘
- ・ 文化財保護課長 粕谷勝
- ・ 参事兼中央公民館長 小熊政彦
- ・ 参事兼中央図書館長 羽生田奈々絵
- ・ 参事兼博物館長 中里良明

(学校教育部)

- ・ 部長 西貝俊哉
- ・ 副部長兼教育指導課長 早川美彦
- ・ 参事兼学校管理課長 馬場雅史
- ・ 学校給食課長 宮沢茂
- ・ 参事兼教育センター所長 大澤崇
- ・ 参事兼市立川越高等学校事務長 松本秀規

(文化スポーツ部)

- ・ スポーツ振興課長 鍛冶良知

(都市計画部)

- ・ 都市景観課長 池田麗子

8 前回会議録の承認

令和 7 年度第 1 1 回定例会会議録を承認した。

9 議題及び議事の概要

○議案第 4 3 号 令和 8 年度学校教職員管理職人事について

【非公開】

○議案第４４号 第四次川越市教育振興基本計画の策定について

（副部長兼教育総務課長）

【資料をもとに説明】

（委員）

指標が以前に比べて倍くらいに増えており、念入りに細かく計画を立てているという印象を受けた。細施策の指標について、数値で出しているものとそうでないものがあるが、これはどういう意図か。

（副部長兼教育総務課長）

数値目標を立てていない細施策については、目指すべき姿を数値以外の形で示したいという考えから、右矢印で表現している。

（委員）

細かくなればなるほど、その分検証するための事務量が増える。達成状況を問われることも多くなるだろうが、関係する職員の事務量があまりに増えることがないようにしていただきたい。

また、前回の計画と比べて、ページ数はどうなっているか。

（副部長兼教育総務課長）

前回に比べ、ページ数は増えている。

（委員）

結構なボリュームがでるが、本計画書の概要版を作る予定はあるか。

（副部長兼教育総務課長）

審議会の委員からも同様のご意見をいただいたところであり、現在、概要版の作成を進めている。

（委員）

概要版を作成する際は、指標が一覧で見られる資料もあるとよい。

（副部長兼教育総務課長）

いただいたご意見については、検討する。

（委員）

パブリックコメントが２件あったが、どのように対応したのか。

(副部長兼教育総務課長)

貴重なご意見として受け止め、関係課とも情報を共有したところである。

(委 員)

教育振興基本計画は都市景観関係の計画ともリンクしていると思うが、どの程度関係性があるか。

(都市景観課長)

都市景観課では、川越市景観計画、川越市川越伝統的建造物群保存地区保存計画、川越市歴史的風致維持向上計画といった３つの計画を所管している。

教育振興基本計画は、主に川越伝統的建造物群保存地区保存計画とリンクしているが、同計画の中では指標を設けていないので、教育振興基本計画の指標を用いて進行管理しているところである。

(委 員)

川越伝統的建造物群保存地区保存計画は何年ごとに改定しているのか。今回の教育振興基本計画の改定時期とタイミングは同じなのか。

(都市景観課長)

川越伝統的建造物群保存地区保存計画の改定は必要に応じて行うものであり、改定時期は決まっていない。

【全員異議なく原案どおり決定】

○議案第４５号 川越市立図書館運営方針の改定について

(参事兼中央図書館長)

【資料をもとに説明】

(委 員)

「学童保育室における図書の充実」についてだが、学童保育室の図書は学校図書室の本とは別に用意されているのか。

(参事兼中央図書館長)

通常は学童保育室内に図書が用意されている。普段の生活の中では出会わない本を紹介する機会として、学童保育室でおはなし会を実施しているが、その際は図書館から本を持参し貸し出している。

【全員異議なく原案どおり決定】

○議案第４６号 第五次川越市子ども読書活動推進計画の策定について

（参事兼中央図書館長）

【資料をもとに説明】

（委 員）

読書が好きだと答える小中学生の割合が非常に低下してきているのではないかと。目標値を８０％と高く設定しているが、単に本を読ませる活動だけでなく、読書を好きになり楽しんでもらえるための具体的なアプローチや工夫はあるか。

（参事兼中央図書館長）

現在小学校３年生等を対象とした学級訪問を行っているが、引き続き取り組んでいきたい。また、来館する子どもたちにおはなし会を実施しているが、周知が足りていない面があるので、子育て支援施設や学童保育室等、保護者へのアプローチを積極的に行っていきたい。

（委 員）

図書館は単に本を借りるだけの場所ではなく、例えばお母さんたちが子育ての悩みを持ち寄りたりできるような、保護者の居場所でもあってほしい。そのような側面からも、保護者たちも集まれるようなイベントなどがあるといいと思う。

（教育長）

市内の小学校を視察した際、校長自ら子どもたちに認定証を手渡すなど、かなり熱心に読書マラソンに取り組んでいる学校があった。低学年のうちから読書習慣をつけるため、特に１～２年生の指導に力を入れていた。校長の意識の差など、やはり学校間の格差がまだあるのではないかと。各地区に図書館がないため、それを補うような取組を検討していく

必要がある。

(委 員)

学校図書館図書標準の達成率目標だが、実績値が92.9%、目標値が100%となっているが、学校間でばらつきはどのくらいあるか。

(副部長兼教育指導課長)

学校間に大きな差はないが、令和5年度から学校の判断で古い図書を廃棄できるようにしたため、その違いは若干あると思われる。

(委 員)

図書館のない地区については、学校の図書室が大事な役割を果たすと思うので、ぜひ力を入れていただきたい。

(参事兼中央図書館長)

図書館遠隔地の課題として認識しており、近くにある公民館を活用できないかと考えている。まずは予約された図書の受け取り方法等を工夫できないかと検討しているところである。

(委 員)

図書館を活用するアイデアを募集する機会はあるのか。

(参事兼中央図書館長)

市政へのご意見・ご提案をお寄せいただく「わたしの提案」制度のほか、図書館協議会において公募委員から施策の提案を受けたことはある。引き続き、広くご意見を募っていきたい。

(委 員)

移動式カフェの併設や夜の図書館など、様々な提案や意見を出したいので、ぜひ募っていただきたい。

【全員異議なく原案どおり決定】

○議案第47号 第三次川越市学校教育情報化推進計画の策定について

(副部長兼教育指導課長)

【資料をもとに説明】

(委 員)

I C T教育における小中高を通じた12年間の学びの連続性について、カリキュラムマネジメントとして必要だと思うが、どのように担保する考えか。

(副部長兼教育指導課長)

現行の学習指導要領では、小中学校においてはプログラミング教育という形で進めてきた。高校では情報Ⅰが始まるので、これまでの学習が上手くつながられるよう教育体系の枠組みを設定していこうと考えている。

(委 員)

生成A Iの活用について、今後子どもたちが適切にA Iを活用していくに当たり、ガイドラインの策定が必要と考える。また、パイロット的な事業を行う予定はあるか。

(副部長兼教育指導課長)

子どもたちの生成A I活用については、メディアリテラシー教育の体系の中で、A Iの利点や問題点なども含め、新しい学習指導要領の内容と整合性を図りながら進めて行きたい。

(委 員)

他市では、I C Tに長けた人材として外部のI T企業から教育委員会に招き、常勤で働いている事例があるようだ。本市にもI C Tに長けている先生がいるが、本業に支障をきたす恐れもあるので、外部のI T人材を専門家として入れていくものの一つの考えだと思うがどうか。

(副部長兼教育指導課長)

本市では、G I G Aスクール構想に基づいたI C T環境の利活用及び安定した運用のため、外部事業者への業務委託を実施している。年間を通して、各学校へ行き技術的な指導や研修会等でアドバイスをするなど、の支援を行っている。いただいた意見については、改めて検討していく。

【全員異議なく原案どおり決定】

○議案第４８号 第二次川越市特別支援教育推進に関する計画の策定について

(参事兼教育センター所長)

【資料をもとに説明】

(委員)

「関係機関との連携強化」が明記されていることを高く評価する。個人情報観点から、事業所と学校の連携や情報共有は難しいのではないかと考えるが、リアルタイムな情報を共有するためのツールや協議会のような場は想定しているか。

(参事兼教育センター所長)

現時点では協議会の想定はない。教育センター分室リベラの教育相談担当が間に入り、情報の共有を行う仕組みとなっている。生徒一人ひとりの必要に応じて、適切に事業所と連携を図るよう学校にも伝えていく。

(委員)

特別支援学級の設置状況を見ると、ここ数年増えてきており、体制の整備や保護者の理解が進んできたのではないか。一方、通級指導教室については、体制や指導教諭の育成など今後の見通しをどのように考えているのか。

(参事兼教育センター所長)

次年度から教職員の定数化に伴い、教員の人数は増えていく。それぞれのエリアでパイロット校が核となり、通級指導教室を充実させていく。専門知識の必要性など、指導教諭の育成も課題であると感じており、より一層専門性の高い講師等を招いての研修が必要であると考えている。

(委員)

通級指導教室の必要性を今以上に教職員にも伝えてほしい。

(教育長)

通級指導教室に関する課題がまとめられているが、表現が抽象的である。通級指導教室の場の増設や、教員が更に理解を深めること、通級指

導教室の担当と学級担任の連携の在り方について、先の委員の意見を参考に、もう少しわかりやすい表現にしたらどうか。

(参事兼教育センター所長)

いただいたご意見について検討する。

(委 員)

学級運営支援員にも、適切な支援をするために、もっと生徒の状況や特性等の情報提供をしてほしい。

(参事兼教育センター所長)

生徒のより良い支援につなげるために、情報共有は必須であると思う。学級運営支援員の立場では積極的に聞きづらいこともあると思うので、学校の方に働きかけて、必要に応じて情報提供するよう進めていきたい。

【全員異議なく原案どおり決定】

○議案第49号 学校における働き方改革基本方針の改定及び業務量管理・健康確保措置実施計画の策定について

(参事兼学校管理課長)

【資料をもとに説明】

(委 員)

教頭の負担をいかに減らすかについて、どのように考えているか。

(参事兼学校管理課長)

先日、教頭を対象とした研修会を開き、教頭の視点から働き方改革について話し合う場を設けた。今後も積極的に教頭に働きかけて、少しでも業務改善が図れるよう進めていきたい。

(委 員)

研修会の中では、業務の見える化について具体的な話があったか。

(参事兼学校管理課長)

課題をグループで協議してもらい、ファイルの整理や紙で残すものの精査など、他の教職員に「見える化」する重要性について話し合ったと

ころである。

【全員異議なく原案どおり決定】

○議案第50号 川越市学校運営協議会規則の一部を改正する規則を定めることについて

(参事兼学校管理課長)

【資料をもとに説明】

【全員異議なく原案どおり決定】

○議案第51号 川越市教育委員会公告式規則の一部を改正する規則を定めることについて

(副部長兼教育総務課長)

【資料をもとに説明】

【全員異議なく原案どおり決定】

○議案第52号 川越市立図書館管理規則の一部を改正する規則を定めることについて

(参事兼中央図書館長)

【資料をもとに説明】

【全員異議なく原案どおり決定】

○議案第53号 川越市立学校職員安全衛生管理規則を定めることについて

(参事兼学校管理課長)

【資料をもとに説明】

(教育長)

第7条の化学物質管理者の設置だが、市立特別支援学校には配置しなくてよいのか。

(参事兼学校管理課長)

市立特別支援学校については、法令に該当する薬品等を取り扱わないため、化学物質管理者を配置する必要はない。

【全員異議なく原案どおり決定】

○議案第54号 川越市立学校給食センター管理規則の一部を改正する規則を定めることについて

(学校給食課長)

【資料をもとに説明】

(委 員)

給食費の半額無償化だが、来年度からはどのようなになるのか。

(学校給食課長)

現在調整中であり、3月の定例会で改めてご説明したい。

(委 員)

今後物価が高騰し、予算が足りなくなった場合は、補正予算など新たに予算措置をするのか。

(学校給食課長)

給食費の改定額については、今年度組んだ補正予算を踏まえて算出したところであり、今のところ補正予算を組むことは念頭にない。

(委 員)

給食費の値上げ幅の根拠や、今後の見通しについても併せて保護者に周知するようにしていただきたい。

(学校給食課長)

現在、給食費を改定することについては保護者に周知しているところである。今回規則が改定されれば、改定額についても周知できるようになる。また、負担軽減策についても周知できるよう検討していきたい。

(委 員)

P T Aの方々の中では、特に中学校において給食の量が少ないのでは

ないかという声も聞かれる。量の確保への要望も多いので、そちらにも目を向けていただきたい。

(学校給食課長)

そのような意見は以前からあるが、量を増やすというのは実際のところ難しいと考えている。前提として栄養価を十分確保しなければならないが、栄養過多も避けなければならない。塩分の調整など、献立の作成上難しい面もある。単純に給食費の額が上がったから量を増やせるというものでもないということをご理解いただきたい。さらに、足りないと言っている学校の残菜の数値を調べてみても、決して量が少ないというわけではないのが現状である。

(委 員)

満足度については、個人差の問題が大いにあると思われる。引き続き、保護者には丁寧に説明していただきたい。

【全員異議なく原案どおり決定】

○議案第 5 5 号 令和 7 年度一般会計補正予算（教育委員会所管分）について

【非公開】

○議案第 5 6 号 川越市いじめ問題対策委員会委員を委嘱することについて

【非公開】

○議案第 5 7 号 川越市学校部活動地域連携・地域移行推進基金条例の一部を改正する条例を定めることについて

【非公開】

1 0 報告事項

(1) 学校体育施設開放事業における実費徴収について

(スポーツ振興課長)

【資料をもとに説明】

(委 員)

夜間照明の消し忘れや空調の消し忘れ等の事態への対応については、何か考えているか。

(スポーツ振興課長)

まずはチェック表を用意するなどして、注意喚起を行っていく。学校によっては運営委員会による見回りを行っているところである。

(教育長)

事前にコンビニで利用券を購入し、利用報告書に貼付して運営委員会に提出するということだが、実際に利用時間の延長があった場合は把握できないのではないか。

(スポーツ振興課長)

常駐している職員がいるわけではないので、運営委員会において把握している利用情報と照合して確認をしていく。

(教育長)

仮に申請と実績が合っていなかった場合や消し忘れ等があった場合は、あとで超過金を徴収するのか。

(スポーツ振興課長)

現在のところ、消し忘れ等に対する罰則は検討していない。

(委 員)

空調機においては、リモコンタイマー等によるシステム制御はできないのか。

(教育財務課長)

そもそも、空調の電源を入れるにあたり、専用の鍵を差し込んでおくことが必要となる。体育館の鍵と空調用の鍵を合わせて適切に管理することで、確認はできるのではないか。

(教育長)

色々と課題は出てきたようなので、検討していただきたい。

1 1 協議事項

(1) 川越市立小・中学校の水泳授業及びプール施設の在り方に関する基本的な方針（案）について

(副部長兼教育指導課長)

【資料をもとに説明】

(委 員)

小学校と中学校で対応を分けるということだが、どういうことか。

(副部長兼教育指導課長)

授業の組み方を考え方の基本としており、小学校では2コマ分を水泳の授業にあてているため、民間委託でも問題がない。中学校では1コマ分しか水泳の授業にあてることができないため、移動時間を考えると民間委託は困難である。

(委 員)

残された学校プールの使い道についてどのように考えているか。

(副部長兼教育指導課長)

一旦学校プールを解体してしまうと、再度学校プールを作り直すのは難しい。民間委託がずっと続けられるとも限らないため、今すぐ学校プールを撤去することは考えていない。

(教育長)

民間委託の考え方について、「なぜ教員がその場にいながら教員が教えないのか」、「なぜ民間に丸投げするんだ」と言う声もあると聞いている。例えば、民間委託するにしても、教員が主で教え、インストラクターは補助をするということになれば、経費削減にもつながると考えるがどうか。

(副部長兼教育指導課長)

民間委託のコスト削減は課題の1つとなっている。他市の事例を研究したところ、民間施設のみを借りるような形態で、指導は教員が行い、施設管理者はあくまで監視のみ、と棲み分けてコスト削減を図っている事例があるのは承知している。

1 2 その他

- (1) 議案第57号を日程に追加することについて、全出席委員が承認した。
- (2) 議案第43号及び第56号は性質上公開になじまない情報にあたり、議案第55号及び第57号は意思決定過程における情報にあたることから、この審議に係る会議を公開しないこととする動議が提出された。全出席委員がこの動議に賛成し、当該審議については非公開として取り扱うとともに、議案第43号については人事に関する情報にあたることから、関係理事者（教育総務部長、学校教育部長、教育総務課長、学校管理課長）のみで審議することに決定した。
- (3) 議案第44号の関係者として都市景観課長の出席、報告事項(1)の関

係者としてスポーツ振興課長の出席について、全出席委員が承認し出席が認められた。

- (4) 会議録の署名委員として岡本委員、大石委員が指名された。
- (5) 次回教育委員会は、令和 8 年 3 月 2 4 日（火）午後 2 時開会に決定した。